

4 日本人と手帳の四百年 文・イラスト/高山宗東

7 モノすごい手帳 ブランド・カタログ23

01 無印良品 02 ロルバーン 03 エックス47 04 ほぼ日プランナー 05 クオバデイス
06 ハンディピック 07 グリーンウィッチ 08 モレスキン 09 デイリー・プランナー “エディット”
10 イノベーター 11 MDノートダイアリー 12 ハイタイド 13 能率手帳ゴールド 14 ノフェス
15 フレックス 16 ディスカヴァー21 17 プレイオフ 18 コクヨ S&T 19 リヒトラブ
20 フォブコープ 21 ペーパープランクス 22 アシュフォード 23 フランクリン・プランナー

モノすごいブランド物語

08 無印良品
24 クオバデイス

モノすごい手帳拝見

22 モデル&女優の場合/鈴木えみ
38 映画監督の場合/内山勇士
56 試し書きコレクターの場合/寺井広樹
74 クリエーターモデルの場合/高橋真依子

65 モノすごい手帳アラカルト

- 66 気になるあの**ショップ**の手帳は基本早い者勝ち!
- 68 誘惑したい♥されたい。**キャバ手帳**
- 69 あのタブレットと同サイズの「**ypad**」
- 70 **個性派手帳**を使いこなそう
- 72 永久不滅の**キャラクター**三昧!
- 76 **女子手帳**は見た目勝負するのよ
- 78 新しい**超整理手帳**は伸びすぎちゃって困るわーっ
- 79 **家族**の予定がひと目でわかる、ママさん大喜び!
- 80 利便性で選びたい**ノートやメモ**、そして手帳
- 82 メイドイン TOKYO の**職人手帳**に新機軸が加わったゾ!
- 84 **モノ×トライストラムス×3**コラボ手帳発売!
- 86 この手帳で、**英語を学ぶ**“プランナー”になるべし
- 88 懐かしの**スパイ手帳**でハードボイルドだど! by スパイ・ザ・バック
- 90 郷土愛に溢れた**ご当地手帳**ば買うてくれんね by 長崎手帳
- 92 ヨコにもタテにも使える**半年手帳**
- 93 世界の筆記具ペンハウスの手帳カバーコレクション!!
- 94 **紙**は生き続ける
- 95 モノすごいプレゼント&インフォメーション

無印良品

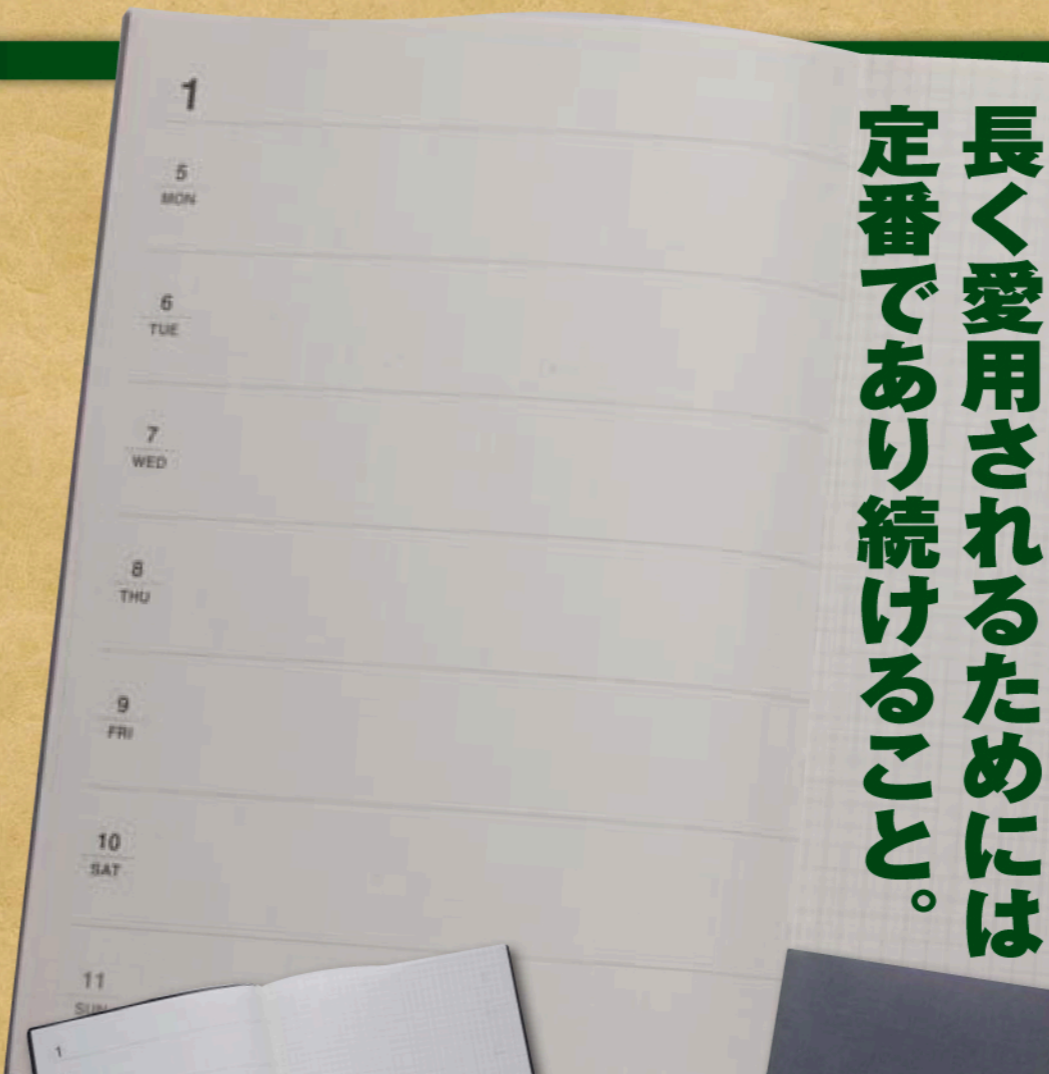
創業以来、シンプルで飾らない機能重視のモノづくりと、シンプルなライフスタイルの提案とを続けてきた無印良品。カレンダー & スケジュールのカテゴリーにおいてもそのコンセプトは明白。過度な装飾を省き、とにかくシンプル & 機能性を重視してきた。

長く愛用されるためには
定番であり続けること。

BRANDSTORY 01

良品

今はコレ!



2004
シンプルなデザインで
スケジュールの定番に
左ページにウィークリー、右ページに方眼という使いやすさを究めたシンプルデザイン。表紙は2003年より耐久性の高いオレフィンコート紙を採用。



2005
表紙をオレフィンカバーに
変更
2005年より表紙の使用感を高めるためにオレフィンカバーに改良。中は2003年版と同デザインが継承された。



2006
ライフスタイルを問わず
広く・長く愛される人気品
塩化ビニールカバー再生紙マンスリー・ウィークリー・ノート 2012年12月始まり B5 価格1200円
開いた時に書きやすいフラット製本で、しおり紐付き。マンスリーは見開き1ヶ月。



2013
カバーの取り
外しが可能に
2009年にはさらにカバー素材を改良。2013年版からは取り外しのできるようになった。色はダークグレー/ホワイトグレーの2色。

「無印」という立場に
「良品」という価値観を
つけて誕生

1980年に「デビュー」した無印良品「わけあって、安い」をキヤッチフレーズとして、神秘的なほどシンプルで、かつ機能に徹した、使いやすい商標が生み出された。誕生から30年あまりを経た現在、世界の人々に適正な価格で「感じ良いくら」を提案する、生活美学の専門店を目指している。

そして、「無印良品」立ち上げ当初からアドバイザリーボードの中心にいたのが、現代デザインの巨匠である故田中一光氏。70年までの20年余、渡りアーティディレクターとして無印良品の思想を表現し、モノづくりに多大な影響を与えた。ちなみに「無印良品」のネーミングは既存ブランドに對する「アンチテーゼ」を基本コンセプトに、英語の「ノーブランドグッズ」(no brand goods)を音訳した。この「ノーブランド」の日本語訳は田中一光氏によって考案された。



1980年のデビュー当時の全40アイテム

無印良品は生活雑貨9品目、食品31品目あわせて40のアイテムでスタートした。実質本位でより安く、という生活者への使命感のようなものが根底に感じられる。商品には安さや商品の成り立ちの理由が明記されていた。



1981年の名作 広告ポスター

鮭には頭としっぽのまわりにもおいしい身がついているのに胴体の輪切りだけが国産メーカーの缶詰に登場していることを表現。見過ごしたり捨ててしまうものを見直すことが無印良品のモノづくりの基礎なのである。



1980年の創業時の 広告ポスター

グラフィックデザインは故田中一光氏。コピーは現在もアドバイザリーボードをつとめる小池一子氏。無印良品のコンセプトを端的に表現した、日本の広告史に輝く傑作。



ポリプロピレンカバー デスクノート

価格1000円
2012年12月始まりの現行品。350×170mm。上段に罫線、下段は1週間表示のデスクノートタイプスケジュール。同サイズで再生クラフト紙の日付けなしタイプもあり。



再生紙クラフト紙の カラーを薄く変更

ファーストモデルはブラウンの色が濃すぎて使いにくいと意見があり、少し薄く改良された。



無印良品のカレンダー & スケジュールのルーツとなったのは、手帳でもカレンダーでもなく、実は「デスクノート」。1992年に田中一光氏が基本となるデザインを考案したもので、日付け表示がなく、好きな時から使い始められる汎用性、デスクトップでちょうど使いやすさ、横長サイズなどで人気を博した。その後、パリで見つけてきたもう少し小さな同タイプを参考にしたり、A5版など、サイズのパリエーションが加わったことになる。さらに「日付けが入ったものも欲しい」というユーザーの要望に応える形で、現在の日付け入りタイプもフィニッシュに加えられた。素材は当初から再生紙クラフト紙が採用されていたが、やはりユーザーから「もっと白に近い色が欲しい」とのフィードバックもあり、現行モデルに近い紙色のタイプも発売された。2013年版には日付け入りとファーストモデルに近い日付けなし・再生紙クラフト紙使用の2モデルがラインナップされている。

また、このカテゴリーのエース的存在として圧倒的な支持を得てきたのが右ページで紹介した「マンズリー・ウィークリー・ノート」だ。最初は紙の表紙で発売されたが、1年間使った表紙が劣化してしまったり、理由から、2005年にオレフィンカバー付きタイプに改良。しかし汗等で表紙のゆがみが気になるというご意見があり、2009年には塩化ビニール表紙に変更。今度は爪が当たると白く跡が残ってしまうというご意見も。またまたカバーの素材を見直すこと。そして2013年版はカバーを取り外しできるように改良されている。まさに「エース」に歴史あり、トップの座は一日でならず、といったところだ。他にも細部のデザイン変更や紙質の変遷などご意見 & リクエストに実に細かく対応してきた涙ぐましい歴史があるのだが、それについては次ページで紹介したい。



試し書きコレクターの場合



イタリアで見つけたペン画。万年筆に詳しい方に見せたところ、見たことのないデザインだそう。来年あたりのどこかのメーカーの新作か？



クリアポケットに試し書き用の紙を挟んでおいて、有名な人に遭遇するとサッと取り出してお願いする。サインではなく無意識に試し書きをしてもらうのがポイントです。

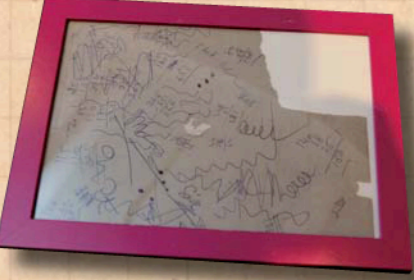
朝日放送の長寿人気番組「探偵ナイトスクープ」で出演者だけに配られる非売品「探偵手帳」。おなじみの6穴バインダー式。ファスナーポケット、クリアポケットが多く、試し書きのコレクトに最適。



ケニアの試し書きは筆圧が高いのが特徴。これはインクの出ないペンも多いからでそう、破れちゃってるのもそれが理由。



ニューヨークの画材店で手に入れたもので、寺井氏のお気に入りの作品。色使いや無意識で完成されてしまった構図など、もう完全にアートと呼びたくなる逸品！



こちらはインド。さすが数学に強い国らしく試し書きにもインド式計算が使われることが多いらしい。



巨匠、ちばてつや氏がわずか1~2秒で書き上げてくれた試し書き版「矢吹ジョー」。とっておきの作品だそう。

コレクションのきっかけとなったベルギーでの一枚。出会った時の衝撃は今でも忘れられないという。

楽しみ方はまさに無限大！ “タメシガキ”の世界へようこそ！

文 / 井上清 写真 / 熊谷義久(WPP)

「この手帳は4年ほど前「探偵ナイトスクープ」に出演させていただいた時にもったもの。ポケットが多く、また試し書きを挟んで一時保管するのに便利なため、コレクション専用ツールとして愛用中です。主にTVやラジオで一緒にさせていただいたり、また表参道あたりで遭遇した有名人の方の試し書き収集に使います。サインをいただく前に手帳から試し書き用の紙を取り出し、「こちらでどうぞ」とお渡しするわけです。収集の目的は成功者の試し書きの共通点を探ること。サインの方ももちろん大切に保管させていたいです(笑)」

試し書きとは筆記具売場でペンの書き味を試すアレである。渦巻きや波線を書いたり、名前を書いたり、そしてスペースが埋まると無造作に捨てられるアレである。そこに無意識の結集が生み出すアート性と文化的な無限の楽しみがあることを発見した人物がいる。離婚式プランナーとして知られる寺井広樹さんだ。

「きっかけはベルギーの文房具店で、額装して部屋に飾りたい」という衝動にかられた試し書きに出会ったこと。複数の人が無意識で書いた抽象的な線や文字、イラストが一枚の紙に集合してまさに現代アートになっていることに衝撃を受けました。さらに集めていくうちに国ごとの文化や現状なども分かり、民族学、文化人類学的な視点からも楽しめることが分かってきました。

現在は世界54カ国以上、約2000枚のコレクションを誇り、その中から傑作を選び上げた個展は、文具ファンを中心に人気を集めている。



ヨーロッパ、アフリカ、南米など世界56カ国以上から集めた試し書きコレクション。国それぞれに個性がある。

試し書きは無意識のアート！

「世の中のほとんどのものは人の目を意識した世界。しかし、試し書きは誰に見せるために書いてあるわけでもないので、無意識のうちに書いた人の“素”が現われています。試し書きから人の本質が何か読み取れないか？ そういう試みが楽しいのです。」



タメシガキ蒐集家 寺井広樹さん

1980年神戸生まれ。同志社大学経済学部卒。本業は離婚式プランナー。TV・ラジオ・新聞等、国内外のメディアにも多数出演。月に一回都内の文具店を回る「タメシガキツアー」も開催中。詳しくは「世界タメシガキ博覧会」(<http://tameshigaki.org/>)まで。

ペン差しのボールペンはケニアのナイロビで購入したもの。品質にバラツキがあるので、インクの出具合を1本1本、本当に試し書きしなければならないところがお気に入り。試し書き勧誘の必需品。

「永」の字はハネ・ハイが最小画数で入る試し書きに最適な漢字。左はその字が名前に入っている永六輔氏による試し書き。氏のラジオ番組に出演した時にゲット！

女子手帳は見た目で勝負するのよ



働く女性を意識したお洒落なダイアリーがハイセンスなステーションナリー・ブランドから発売され始めたのは1990年代の頃。そして2013年、街の手帳売場を席巻するのは、大人女子を意識したかわいくてお洒落で、しかも使いやすいダイアリーだ。中身は同じでも表紙に何パターンも新作がラインナップされるのが、大人女子手帳の特徴。毎年、当たり前のように去年と同じ手帳を選ぶ男性は多いが、大人女子たちはその年流行のアクセサリやコートを選ぶように、手帳をセレクトするようになった。定番ともいえるポーターやチェック柄、ドット柄には色使いにしっかりとトレンド感があるし、どこかノスタルジックなプリント柄はヨーロッパで大流行中。ラインストーンやフェルトなど異素材を組み合わせてクラフト感を演出したり、また力のあるポップな写真を全面にあしらったものなど、カバーを見ているだけで楽しくなる。そろそろ黒表紙の武骨な手帳から思い切って乗り換えてみてほしいかもしれない。

みんなの人気者!!

A5ベスティオーラ ヒツジ 価格420円②	A5ベスティオーラ ドッグGR 価格420円②	A5フルッテリア チェリー 価格420円②	A5フルッテリア キウイ 価格420円②	A5フルッテリア レモン 価格420円②
B6フラッグハート 価格714円④	C6カレッジ 価格1260円④	パンダダイアリー A6(右)価格630円/B6(左)価格1260円⑥		A6 マンスリー/タルト 価格525円⑥
B6ハートボール 価格672円④	B6イラスト 価格714円④	B6マットグリッター 価格882円④	C6ストライプ 価格1470円④	A6バカンス 価格504円④

上司の予定も管理する?

持ち歩きに便利なリング式ハードカバーで、立ったままでもスラスラ書き込める。

上司の予定も書き込める「Boss欄」付きの気配りダイアリー。ゴムベルト付だからカバンの中でも開かず、スッパリ持ち歩ける。オビニスケジュールノート価格2100円⑤

C6アイビーストライプ 価格1470円④	C6ボード 価格1365円④	A6ウェーブチェック 価格1050円④	A6パッチワーク 価格672円④
B6 マンスリー・ガム 価格714円⑥	B6 2サイドジップ 価格1995円④	B6 モノクローム 価格1365円④	A6 エッフェル 価格588円④
B6 グラフィック DWB-185 価格1470円④	B6 グラフィック DWB-187 価格1470円④	B6 グラフィック DWB-175 価格1470円④	A5 グラフィック DME-58 価格1260円①
チェック生地にフェルトのワンポイント刺しゅう入り。A6ナンバー価格672円④	A5 グラフィック DME-55 価格1260円①	B6 アップリケ 価格1575円④	A6 ナンバー 価格672円④

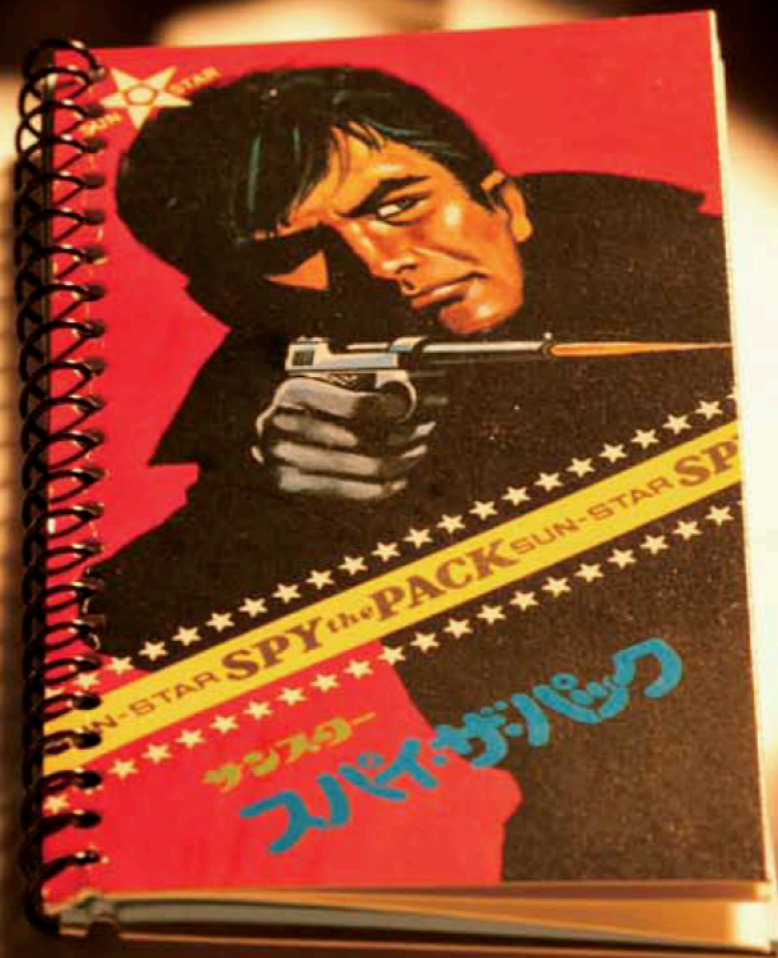
ボロシャツをイメージした人気シリーズ。B6 882円④

①アクティブ ☎052-833-3530 <http://www.active-jpn.co.jp> ②エトランジェ ディ コスタリカ ☎084-981-1644 <http://www.etrangerdicostarica.com>
 ③グリーティングライフ ☎03-5464-2855 <http://www.greetinglife.co.jp> ④ラ・アプス ☎06-6910-6018 <http://www.labsurde.com> ⑤シャチハタ ☎052-523-6935 <http://www.shachihata.co.jp>
 ⑥ユナイテッド・ビーズ ☎084-973-1168 <http://www.united-bees.jp>

当時の子どもたちを夢中にさせた、
これがスパイ手帳だ！



パックの内容は①スパイ手帳(水にとけるシークレットメモ綴じ込み)、②スパイ手帳のビニールカバー、③スパイライセンス、④団員バッジ、⑤水にとけるシークレットロープ、⑥指紋検出セット、⑦シークレットペンの7つ入り。もちろん現在は発売されていないが、ネットオークションなどをチェックしていれば見つかることも。現存美品は案外多いらしい。



懐かしの スパイ手帳で ハードボイルドだど！ byスパイ・サ・パック

憧れのスパイ7つ道具
昭和30年代生まれのオヤジなら必ずや心がときめくスパイ手帳。誰もが「スパイ大作戦」「ボレオンソロ」などのTV番組に登場するスパイ道具に心を躍らせ、銀玉拳銃やら父親の手帳やら壊れた万年筆などで代用し、空想力をめいっぱい働かせて放課後のスパイ活動に励んだものである。そんな少年心を見透かしたように、家が踏んでも壊れない、有名だったサンスタールイブが発売したのがスパイ手帳シリーズだった。1969年12月の第1弾「スパイメモ」から始まり第6〜8弾くらいまで発売されたらしい。今回入手したものは第4弾の「スパイ・サ・パック」手帳・小道具というシリーズの集大成的なアイテムといえる。480円という価格は当時の少年たちにとってはかなりの高額だったので、入手できなかった人の方が多いのではないかと。
スパイ手帳が昭和の少年たちに大ウケしたのは、TV番組がきっかけだと思っが、江戸川乱歩の小説に登場する少年探偵団の「探偵7つ道具」の影響も大だと思っ。スパイシリーズに先駆けて発売されていた月刊少年の「少年探偵手帳」に実際に使える？ 小道具をプラスしたあたりが、少年の心を鷲つかみにしたのではないか。その「少年探偵手帳」にも興味深いものが多いので、機会があれば紹介していきたい。

Editor & Publisher

今井今朝春
Kesaharu Imai

Cover Design

若山トシオ (フェイヴァリット・グラフィックス)
Toshio Wakayama(favorite graphics)

Design

フェイヴァリット・グラフィックス
favorite graphics

Editor

大谷 暁
Satoru Otani

Staff Photographer

熊谷 義久
Yoshihisa Kumagai

油科 康司
Yasuji Yushina

鶴田 智昭
Tomoaki Tsuruda

青木 健格
Takenori Aoki

宮坂 政邦
Masakuni Miyasaka

Advertising Director

坪井 一雄
Kazuo Tsuboi

Advertising Manager

木内 克佳
Katsuyoshi Kiuchi

荒川 幸市
Kouichi Arakawa

Production Director

小川 俊介
Shunsuke Ogawa

Circulation Manager

笹川 裕史
Hiroshi Sasagawa

Print

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP

Base

Correspondents, Washington, D.C. Bureau

(Pictorial Press International)

Norman T.Hatch

Mikako Burks

ワールドフォトプレス ホームページ
<http://www.monomagazine.com>

こんな状態なので...

緊急告知

校了を間近に控えた「モノ
すごい編集部」編集アシ
ストのくん。愛用の手帳
はイタリア製ノートブ
ックの雄チアックがつ
くったダブルフェイス
仕様のデュオ(残念な
がら今号には未掲載)。
あまりに多忙すぎて
オンオフの使い分
けをする暇がない
とぼやきながらご
就寝の様子(笑)。
というわけで緊急
告知します!



あなたのとおきの
手帳・文具
大募集!

写真とコメントを添えて「わたしのモノすごい手帳&文具拜見」係までお送り下さい。お送り先はP95を参照下さい。
もしかしら次回あなたの相棒が掲載されるかも!
※なお、お送りいただきました写真などは返却できませんのでご了承下さい。
掲載させていただく場合のみ編集部からご連絡いたします。全国からの手帳自慢・文具自慢のご応募をお待ちしております!

WORLD **M**OOK

ワールド・ムック960(通巻960号)

平成24年12月25日発行

mono 雑誌

モノすごい手帳2

編集・発行人 ● 今井今朝春

発行所 ● 株式会社ワールドフォトプレス

〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2

TEL:03(5385)5666【編集部】

03(5385)5701【販売部】

03(5385)1350【広告営業部】

FAX:03(5385)5617【編集部】

03(5385)5703【販売部】

03(5385)1348【広告営業部】

印刷所 ● 大日本印刷株式会社

© WORLD PHOTO PRESS 2012

造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がございましたら販売部までにお送りください。
送料弊社負担にてお取り換えいたします。本誌掲載記事の無断複製転写を禁じます。

弊社出版物のお申し込みはインターネットをご利用いただけます。http://www.monomagazine.com

●本誌に掲載されている商品情報は平成24年11月12日現在の調べによるものです。品切の場合はご容赦くださ
い。また文中の価格はすべて消費税込みの総額表示です。